



SSTL 虹のかけはし

— 私たちからあなたへ —

No. 70

発行人：埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒333-0851 川口市芝新町15-9
アステール藤野1階
編集人：社会福祉法人 川越にじの家
障害者支援施設 にじの家
理事長 野本和幸
〒350-0002 川越市古谷本郷9.9.2番地
TEL.049-236-0666 FAX.049-236-0665
http://k-nijinokai.com/
E-mail : niji@k-nijinokai.com
郵便振替口座番号 00180-5-657610
◎購読料 1部100円

新年度に向けて

安定経営を目指して

理事長 野本和幸

法人の中期計画に基づくとグループホームの開設、ショートステイの増床などは前年度に実現することができましたが、運営等の課題は残っております。今年度は地域ニーズへの対応や更なる地域拡大を進めていくため、新たに放課後等デイサービスの早期の開設を目指していくことになりました。

そうしたなかで、次年度からの第二期中長期計画についてはこれまでの状況を踏まえて安定経営につながる方策を立案していく必要があります。

2月に県の福祉監査課主催の管理者研修に参加しました。地域における公益的取り組みとして地域課題に積極的に立ち向かうこと。そのためには、経営の透明性やエリを正し、共感を得ていく努力をこのことでした。

経営方針でもありますので、日々の丁寧なふれあい、地道な取り組みを一層進めていく必要があります。

今年度も働きがい、一体感のある職場づくりが経営の根幹であること変わりありません。

ご支援何卒よろしくお願い申し上げます。

新年度に向けてご挨拶

施設長 高橋 潤

埼玉県では、平成29年6月定例県協議会において議員提案により「埼玉県虐待禁止条例」が成立し、平成30年4月1日から施行されることになったそうです。この条例の主なポイントは児童・高齢者・障害者の3つの虐待を網羅の一本化に制定した条例とし、県や養護者の責務、関係団体の役割などを明文化しました。施設や職員の責務・役割に関しましては、これまでも実施しておりますが、施設における虐待防止等の研修の実施・参加できるようにすること、虐待の早期発見に努めることに留意し、指導をしていきたいと考えています。他県に先駆けた条例ですので、県民がいかなる虐待も禁止されるものであるという意識に繋がればと思っております。

さて、当施設の支援課では、今年も新たに5人の職員を迎えるとともに、4つのユニットのリーダーも全て入れ替えによる異動で一新しました。昨年度は

法人内でグループホームが開所し、今後も事業を展開していく上では、多くの人材が必要ですし、その人材を育てていけるようにしていきたいと考えます。

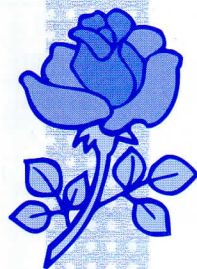
結びになりますが、人材育成は、利用者様の支援の向上や職場の定着にも繋がると思えます。関係者の皆様方には、今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

後援会活動の役割について

後援会会長 田中恒志

平成三十年定期総会が先日開催され活動状況及び会計について承認されました。今年度も暖かい皆様のご支援を得て多くの成果を得る事が出来ました。改めて感謝申し上げます。

さて後援会組織が発足して十年以上が経過致しました。この間も毎年多くの皆様から変わらぬご支援を得て活動の成果を上げてまいりました。有難うございました。諸事情から十年経過して組織の見直しが必要なのは今年度をもって後援会の使命を終わらせる年となり、施設



役員の皆様とも話し合いを重ねてまいりました。残念ながら今年度をもって後援会組織及びその活動を終わらせて頂く事として、先日の総会の席で説明報告し了解を得ました。今後共施設への支援の方法については直接施設への対応として従来以上にご支援下さるようお願いして、ご挨拶と致します。

長い間有難うございました。お礼申し上げます。ご挨拶と致します。

◎平成三十年度

後援会役員

会長 田中恒志
副会長 小笠原直美
会計 井口信子
会計監査 宇山星子
野本寿美

身近になってきたこと

家族会会長 百瀬由美子

日々、職員の皆様をはじめ多くの方々へ支援していただきながら生活している利用者たちですが、すでに中年世代の者が多くなってきました。従って私たち親の世代も多くは高齢者の仲間入りをして久しく、病氣治療中や、親や配偶者の介護に携わ

つているなど、様々な事情を抱える者が増えて参りました。昨年度は家族会会員2名とのお別れがありました。誰にとつてもやがて我が身のことです。判断能力の不十分な息子や娘を残して逝くという現実も身近になってきましたので、昨年十二月には、「親じき後に備えて」の勉強会を開き、先輩法人の理事長から大切なことを学ばせていただいたところです。成年後見制度の活用に加えて私たち親が生き残るうちにこそしておかねばならないことを具体的にお話しくださいましたので、各人が胸に刻んだことでした。今年度の勉強会は、改定された制度の中から利用者たちに関わることについて、当法人の相談支援事業所の方のお話をお願いしております。

◎平成三十年年度

家族会役員

会長 百瀬 由美子
 副会長 清水 邦子
 書記 福田 幸子
 監査 布林 昇子
 会書 施春 子



平成30年度 社会福祉法人川越にじの会事業計画

【今年度の事業推進方針】

平成27年度に策定された法人の中長期計画については、30年度が第1期計画の最終年度に当たります。既にグループホームの開設、ショートステイの増床などは29年度までに実現することができましたが、増設による運営の効率化、ショートステイの利用促進など運用面はこれからの課題となっております。

平成30年度は、法人所有の既存建物の空きスペースの活用と職員の職域拡大をさらに進めていくため、放課後等デイサービスの開設を掲げさせていただきました。早期の開設を目指してまいります。また、今年度は翌年度からの第2期中長期計画（5か年計画）の策定期間に当たります。法人としての事業展開も道半ばでありますことから第1期計画の結果も踏まえて安定経営につながる方策を立案してまいります。

既存の事業、そしてこれから計画化していく事業を確実に推進していくためには、これまで同様に地域とのふれあいを大切に、良質な利用者支援を提供していくための職員の専門性の向上や働き甲斐のある職場の構築に努めていく必要がありますので、引き続き様々な工夫を凝らしてまいります。

平成30年度 収支予算書

(社会福祉法人川越にじの会 収支予算書) (単位：円)

(障害者支援施設にじの家 収支予算書) (単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
経常経費寄付金収入	700,000	人件費	2,000,000
雑収入	300,000	事業費	290,000
拠点区分間繰入金収入	2,000,000	事務費	90,000
経常収入計	3,000,000	経常支出計	2,380,000
		(予備費)	620,000
収入合計	3,000,000	支出合計	3,000,000

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
介護給付費収入	269,300,000	人件費支出	176,097,000
特定障害者特定給付費	4,300,000	事業費支出	33,533,000
利用者負担金収入	20,020,000	事務費支出	24,723,000
その他事業収入	1,138,000	利用者等外給食費支出	1,000,000
経常経費寄付金収入	1,200,000	拠点区分間繰入金支出	33,500,000
雑収入	3,000,000	経常支出計	268,853,000
経常収入計	298,958,000	固定資産取得支出	10,000,000
		(予備費)	20,105,000
収入合計	298,958,000	支出合計	298,958,000

(相談支援事業 収支予算書) (単位：円)

(グループホーム 収支予算書) (単位：円)

(放課後等デイ 収支予算書) (単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
サービス利用前払収入	4,007,820	人件費支出	17,208,000
その他事業収入	5,975,000	事業費支出	1,055,000
雑収入	200,000	事務費支出	1,360,000
拠点区分間繰入金収入	10,000,000	経常支出計	19,623,000
経常収入計	20,182,820	固定資産取得支出	426,800
		(予備費)	133,020
収入合計	20,182,820	支出合計	20,182,820

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
訓練等給付費収入	13,600,000	人件費支出	27,659,000
特定障害者特定給付費	480,000	事業費支出	2,845,000
特定費用収入	2,080,000	事務費支出	1,410,000
拠点区分間繰入金収入	16,500,000	経常支出計	31,914,000
経常収入計	32,660,000	固定資産取得支出	300,000
		(予備費)	446,000
収入合計	32,660,000	支出合計	32,660,000

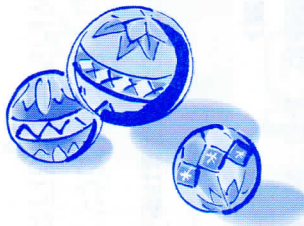
収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
障害児施設給付費	6,177,600	人件費支出	9,228,600
利用者負担金収入	81,000	事業費支出	620,000
拠点区分間繰入金収入	5,000,000	事務費支出	435,000
経常収入計	11,258,600	経常支出計	10,283,600
		固定資産取得支出	700,000
		(予備費)	275,000
収入合計	11,258,600	支出合計	11,258,600

新しく職員が加わりました

新年度となり、四月から新たな職員が入職されました。

「NEWにじの家」として、職員一人ひとりが意見を出し合い、利用者の方がより良い環境で生活出来るように支援していきたいと思います。

- 〈紹介の項目〉
- ① 所属棟と氏名
 - ② 作業班
 - ③ 趣味
 - ④ 自分が電化製品だったら好きな言葉
 - ⑤ 新人職員から皆さんへ
- ※下記以降は番付で内容を掲載します。



- ① A棟支援員 伊藤 栞
- ② 段ボール班
- ③ 音楽鑑賞・旅行・カラオケ
- ④ スピーカー(声が大きい為)
- ⑤ 「皆違って皆良い」

この度、A棟職員となりました伊藤と申します。日々利用者の方々と過ごす中で、色々と学ばせて頂き、刺激をもらっております。少しでもお返しできるように努めてまいります。



① A棟支援員 時田 由依

- ② 陶芸班
- ③ 読書・カラオケ・手芸
- ④ こたつ
- ⑤ 「天は自ら助くる者を助く」

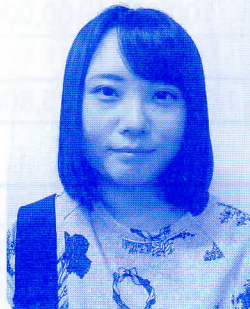
この度A棟職員となりました時田と申します。利用者の方々が笑顔で過ごせるような支援ができるよう心掛けて支援していきたいと思っております。



① B棟支援員 樋口 春菜

- ② 製作班
- ③ カラオケ・古着屋巡り
- ④ テレビ
- ⑤ 「出会った人を大切に」

この度、B棟職員となりました樋口と申します。利用者の方々が心から安心して過ごせるように支援していきたいと思っております。未熟ですが宜しくお願いします。



① C棟支援員 仲神 雄哉

- ② 製作班
- ③ お菓子作り・喫茶店巡り
- ④ 電気こたつ
- ⑤ 「I have a dream」

この度、四月からC棟職員となりました仲神と申します。ご利用者様の思いに寄り添い、四季折々と新しい発見を一緒に見つけていきたいと思っております。



① D棟支援員 中島 良輔

- ② 陶芸班
- ③ ラジオ・英会話・登山
- ④ 処理速度の遅いパソコン
- ⑤ 「Keep On Smiling」

今年度からD棟職員となりました中島良輔と申します。利用者の方が日々楽しく、いきいきとした社会の中で暮らしていただけるように全力で支援していきたいと思います。



「自分を振り返ってみて」

医務 梅澤

この仕事に携わりかれこれ40年近くの月日が流れました。子供の頃から好奇心旺盛、活発なタイプでしたので、結婚・出産・転居や子供たちの成長とともに多くの医療現場で学び働く機会がありました。今でも鮮明に思い出すのは民間救急病院での臨床経験です。当時は病棟と夜間外来を掛け持ちしていましたが、患者さんや救急隊員からの電話で程度や状況を把握し医師に連絡。静まり返り何かが

潜んでいるような不気味な外来で到着を待つのも結構な勇気がいりました。そんな怖さも近づく救急車のサイレンにかき消されたものです。

医師の仕事以外はずべて看護師が行っていましたのでレントゲン機械の初期操作、フィルム準備や暗室での現象、カルテを確認しながら処方薬の調合や分包。それらすべてを任せられ責任は重かったですが達成感がありました。大病院へと救急車に同乗することも。巡回検診や往診、人手不足で各外来へと飛び回りました。長年の看護活動の日常業務の中で培ったすべての仕事に肥やしとなり今に繋がっています。医務としての責任は大きく不安は多いですが協働体制は整っています。利用者さんの笑顔が何よりも仕事をする活力。昨年は世間で大流行したインフルエンザやウイルス性胃腸炎は、にじの家の利用者は誰一人罹ることもなく、昨年は前年度に比べ外来受診総数も減少したことが何よりもうれしく、「ひとりではできない、すべての人のおかげ様」の感謝の気持ちで今があります。



今号までにお世話になった
 紙面の都合上、敬称は略させていただきます。
 紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《散髪》

関口留美子・横山 晃・鶴見 修・
 鶴見真哉・

《棟・作業》

谷平秀子

《ご協力頂いた企業》

(株)ソーラ・立原電機(株)・泉名本店・金子
 商店・岡田屋・春陽苑・(有)ヨシダ・角田
 屋酒店・虎屋商事(株)・(株)富士薬品・えす
 ぼわーる伊佐沼・(有)加藤工業・常盤工業
 (株)・(株)伸栄製作所・ポプラの樹・グリー
 ンロジテック(株)・鈴木商店・(株)日武設備
 川越アトレ 福祉の店・高階市民センタ
 ー内福祉喫茶 茶房ひととき・川越市役
 所・南古谷大樹作業所

にじの家の生活や、

行事におきましては、

大変お世話になりました。

心より感謝申し上げます。



平成29年度会計報告

社団法人 川越にじの会 後援会

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	5,207	5,207	0	
後援会会費	1,300,000	1,225,800	△74,200	
その他の収入	0	100,000	100,000	バザー・喫茶
寄付金	0	0		
合計	1,305,207	1,331,007	25,800	

支出の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
法人への寄付金	1,270,000	1,290,000	20,000	
通信費・雑費	30,000	22,842	△7,158	
内訳(事務費他)		(9,612)		後援会封筒
(通信費)		(0)		
(払込料金)		(10,230)		加入者負担金
(活動費)		(3,000)		
(慶弔費)		(0)		
次年度繰越金	5,207	18,165	12,958	
合計	1,305,207	1,331,007	25,800	

(平成30年3月31日現在)

皆様からの
 「ご支援に感謝して」

平成三十年一月一日から平成三十年三
 月三十一日までに「川越にじの会後援会」
 にご寄付いただいた方々のお名前を掲載
 いたします。なお、紙面の都合上、敬称
 は略させていただきます。

《後援会加入者》

奥平由紀子・野本和幸・小林スミ子

《一般寄付者》

野本和幸・(福)川越にじの会後援会

お子さんが生まれました

総括主任 畑中 翼
 相談員 畑中 啓江
 三月 第一子誕生



編集後記

新年度になり、広報担当のメンバ
 ーが新しくなりました。

今回の号では、新任職員の紹介を
 載せていますが、自己紹介の項目の
 中に「電化製品に例えるなら」とい
 う項目があります。これは、新任職
 員の方が提案をしてくださったも
 で、ユニークな項目だったので入れ
 てみました。どのような性格なのか、
 といったイメージに繋がるとしま
 すので、是非お読みください。

構成を行う段階では、担当ごとで
 協力し合っていた印象を受けました。
 次号でも協力し合い、より良い広報
 誌にしていきたいと思っております。
 今号もお読みいただき、ありがと
 うございました。

【広報担当】

森谷ゆう香・日隈 聡・阿部晴香
 宮崎勇真・時田由依・樋口春菜
 仲神雄哉

